

平成15年4月25日

各位

株式会社 UFJホールディングス  
コード番号 8307

株式会社泉州銀行の平成15年3月期業績予想の修正について

当社子会社の株式会社UFJ銀行の子会社である株式会社泉州銀行の平成15年3月期の業績予想修正に関して、別添資料の通りお知らせいたします。

以上

当行は投資家の皆様、お客さまなどに対するスピーディな情報公開を目的として、ホームページ上にニュースリリースを掲載しております。

なお、本ニュースリリースには証券取引法第166条に定められた重要事実に当たる情報が含まれる可能性があります。重要事実を含むニュースリリースをご覧になられた方が、その重要事実が証券取引法施行令の規定に従い公開された後12時間以内に、UFJホールディングスの株式などの売買等を行なった場合、いわゆるインサイダー取引規制違反として、証券取引法の規定に抵触するおそれがありますのでご注意ください。

平成 15 年 4 月 25 日

各 位

上場会社名 株式会社 泉州銀行  
代表者名 取締役頭取 吉田 憲正  
(コード番号 8372 大証第1部)  
本社所在地 岸和田市宮本町 26 番 15 号  
問合せ先 経営企画部長 坂戸 豊  
(TEL. 0724-23-7441)

## 平成 15 年 3 月期業績予想の修正及び有価証券の評価損に関するお知らせ

### 1. 業績予想の修正

平成 15 年 3 月期(平成 14 年 4 月 1 日~平成 15 年 3 月 31 日)の業績予想につきまして、昨年 11 月の中間決算発表時の業績予想を下記のとおり修正いたします。

#### (1) 平成 15 年 3 月期業績予想数値の修正(平成 14 年 4 月 1 日~平成 15 年 3 月 31 日)

##### 【単体】

(単位:百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	38,000	4,200	5,000
今回修正予想(B)	37,800	2,850	4,400
増減額(B-A)	200	1,350	600
増減率(%)	0.5%	32.1%	12.0%

##### 【連結】

(単位:百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	42,500	4,800	5,200
今回修正予想(B)	42,300	3,570	4,790
増減額(B-A)	200	1,230	410
増減率(%)	0.5%	25.6%	7.9%

#### (2) 業績予想の修正理由

##### 単体業績予想の修正

経常利益につきましては、株価の低迷により有価証券の減損処理額が 40 億円と当初予想に比べ拡大したことを主因に下方修正するものであります。なお、当期純利益につきましては、不良債権の回収等により 44 億円確保できる見込みであります。

##### 連結業績予想の修正

主に単体業績予想の修正によるものであります。

## 2. 有価証券の評価損

当行では、「その他有価証券（財務諸表等規則第8条第21項に規定するその他有価証券をいう。）」について、金融商品の時価会計基準により簿価に比べ時価及び純資産価額が著しく低下した銘柄につきましては減損処理を行っております。

この度、平成15年3月期末における有価証券評価損（減損処理額）を算出いたしました結果、その総額が下記のとおりとなりましたのでお知らせいたします。

平成15年3月期末の有価証券評価損の計上額 (A)	4,035	百万円
平成14年3月期の純資産額 (B)	51,381	百万円
(A) / (B) × 100	7.8	%
平成14年3月期の経常利益額 (C) ( )	5,025	百万円
(A) / (C) × 100	80.2	%
平成14年3月期の当期純利益額 (D) ( )	6,688	百万円
(A) / (D) × 100	60.3	%

### (ご参考)

- (1) 当行の決算期末は、3月31日であります。
- (2) 当行の減損処理基準の概要は、以下のとおりであります。
  - 期末の時価（期末月の1ヶ月平均）等の下落率が50%以上の銘柄。
  - 期末の時価（期末月の1ヶ月平均）等の下落率が30%以上、50%未満の銘柄で、株価の回復の見込みがないと判断した銘柄。
- (3) 上記減損処理後の「その他有価証券」の評価差額は44億円の評価損であります。

以上